



公民館運営審議会委員 古川 千里
(昭島市民生委員)

私は長崎で生まれて、小さい頃から祖母に戦争の話をよく聞かされました。毎年8月9日の原爆記念日（ながさき平和の日）は夏休みの登校日で、原爆投下時の11時2分にはサイレンが鳴り響き、校庭で全校生徒1分間の黙祷をしました。平和祈念像は身近にあり、「天を指す右手は原爆の脅威を、水平に伸びた左手は平和を表している」と祖母は教えてくれました。

2016年に昭島市民になり、ちょうど10年が経とうとしています。2018年から公民館で市民大学の受講生として学ぶ機会を得ました。終了後は男女共同参画セミナーや、己書など魅力ある講座もたくさんあり、この平和な時代に好きなことを学べる楽しさを知りました。公民館を利用させて頂いたお陰で、中庭にある北村西望氏の像が長崎の平和祈念像を制作した彫刻家だと知り、民生委員からの推薦で公民館運営審議会委員のお話を頂いた時は何か不思議なご縁を感じました。

当初は、何をやればいいのかわからなくて、社会教育、生涯学習って何だろう？そんな疑問を持ったまま1年が過ぎました。何度か参加した講演会や会合で講師のお話を伺い、皆さんとお話する中でぼんやりですが見えてきたように思います。

インターネットの普及で、それが無い時代に比べたら何倍もの情報量で利便性も高まっています。しかし、人と人（教える側と教わる側）との関わり、交流を持つことの大切さはインターネットでは実現できない公民館の強みだと思います。皆さんが平等に利用できるように、今後は微力ながら公民館と地域の方々との架け橋になりたいと思っています。

公民館運営審議会活動報告

公民館運営審議会は公民館における各種事業を調査・審議することを目的に開催しています。11月と12月の主な内容についてお知らせします。

◇11月13日（木）

10月25日（土）に開催された都公連委員部会の研修会について内容の説明と、参加した委員からは、参加しての感想や他市の参加者と意見交換した事や、感じた事、気づいた事などについて、話し合いました。

事務局から主催事業の報告を行い、また公民館館長から第22期公民館運営審議会会長あてに諮問を行い、今後答申に向けて会議を進めていくことを確認しました。

諮問は『公民館事業におけるDXの活用について』です。各委員それぞれがデジタルに関する意見や実際に経験したことなどをフリートークしました。

◇12月11日（木）

事務局より2月7日（土）の都公連主催公民館研究大会の案内や主催事業の報告を行うほか、答申作成までの第1ステップとして、『昭島市教育振興基本計画』や『昭島市デジタル化推進計画』の関連する部分について確認しました。

※公民館運営審議会は、第2木曜日の午後6時30分から月1回定例会を行っています。休館中はアキシマエンス校舎棟などの会場で行います。傍聴も可能です。

公民館利用者連絡会 けいじばん

かるがもカフェ（利用者交流懇談会）
「どこでも公民館」第1回目 報告

「どこでも公民館」というのは、「公民館という建物にこだわらず、『みんなで集い 交流できる空間』学ぶ気持ちがあれば、地域の会館・緑の中、どこでもが公民館になる」という考え方です。

第1回目として、12月13日（土）にハピネス昭和の森（代官山1丁目）で実施。

この施設は10年前にできた高齢者福祉施設です。地域との交流を目的にした『地域交流スペース』は音楽の発表

ができるピアノや音響設備があり、50名ほどの参加で開催することができました。

舞台では、日頃の練習成果を発表。参加者も一緒に歌い、手拍子、ティータイム、と楽しいひと時でした。今回は、音楽関係のサークルが発表できる場所をさがしていたので、紹介する目的もありましたが、地域包括支援センターも併設されており、高齢者の相談場所として知ってもらえるよい機会になりました。

次回は、自治会館をお借りして、公民館を利用したことがない方にも、公民館での活動を知って頂く機会になるよう企画を進めています。